

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	健美道 今里
住 所	大阪府大阪市東成区大今里西二丁目16番15号 101号室
電話番号	06-6974-1300

事業所番号	2711501201
管理者名	岡邊 みさき
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		80 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		20 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検動要に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		7 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	150 点 / 200点
----	-----------------

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）



(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	56,421.00	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	8,177.00	人
			利用者の1日の平均労働時間数	6.90	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（ 2月～ 1月）					
前々年度（令和5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	32,584,676	円	利用者に支払った賃金総額	74,124,418	円
			収支	▲ 41,539,742	円
前々年度（令和6年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	79,863,028	円	利用者に支払った賃金総額	78,764,067	円
			収支	1,098,961	円
前年度（令和7年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	48,117,687	円	利用者に支払った賃金総額	81,433,975	円
			収支	▲ 33,316,288	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/>			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>		◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input checked="" type="checkbox"/>		◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/>	
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している <input checked="" type="checkbox"/>		※研修、学会等名 7年度 就A 報告会		※先進的事業者名 ワークサポート鶴見	
※研修名 障がい者支援の基礎		実施日 3月16日		実施日/参加者数 3月16日 2人	
研修講師 宮城（福祉団体 みらいに光を）		※学会誌等名		※他の事業所名 ヒラキンサポート	
実施日・受講者数 3月16日 2人		掲載日 月 日		実施日/参加者数 3月16日 2人	
		発表テーマ 年度の事業所運営 発表		上記の事業所の視察を受け入れる。	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している <input checked="" type="checkbox"/>		◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/>		◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/>	
※商談会等名 第12回 メディカルジャパン大阪		◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/>		◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/>	
主催者名 RX Japan合同会社		人事評価制度の制定日 2022年12月1日		※配置期間 月 日～ 月 日	
日時 3月11日		人事評価制度の対象職員数 10名		就業時間	
内容 インデックス大阪にて、福祉請求システムなどの説明をうけ、導入の検討を行う。		うち昇給・昇格を行った者 10名		職務内容	
		当該人事評価制度の周知方法 就業規則での記載。年3回の人事評価シート記入時の説明。			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>		◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input checked="" type="checkbox"/>					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	健美道 今里	事業所番号	2711501201
住所	大阪府大阪市東成区大今里西二丁目16番15号101号室	管理者名	岡邊 みさき
電話番号	06-6974-1300	対象年度	令和7年度

## 就労支援 発表の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所 株式会社 F-ライン 実施日程 月・火・水・木・金 実施した生産活動・施設外就労の概要 施設外先および地域の配達、 ドライバー横乗り業務</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>ドライバー業務（配達業務等）を実施することで、利用者の実践的な就労スキルの習得と安定した作業能力の向上を図るとともに、地域企業との連携を通じて就労機会の拡大および工賃向上を目指す</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実際の配達業務を通じて就労に必要な基礎スキルの向上が見られた。また継続的な業務参加により作業の安定性や責任間の向上にもつながった。一方で、交通状況や突発的な変更への対応など、状況に応じた柔軟な判断力や自主的な行動については課題が残っており、今後も継続手金支援を行いながらスキル向上を目指す。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

業務に関して、真面目に取り組む姿勢や、指示に対する理解力・対応力について一定の評価を得ている。また、継続的な業務参加により作業の精度やスピード向上もみられ、戦力としても期待できるとの意見があった。一方で、状況に応じて柔軟な対応や自主的な判断力の向上については今後の課題であるとの意見があげられた。



連携先企業名	(株) F-ライン	担当者名	富永義明
--------	-----------	------	------

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	健美道 今里
住所	大阪府大阪市東成区大今里西二丁目16番15号101号室
電話番号	06-6974-1300

事業所番号	2711501201
管理者名	岡邊 みさき
対象年度	令和 7 年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>活動場所 健美道今里院</p> <p>実施日程 2025年9月28日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 外部講師を招き、施術スキルの向上</p> <p>利用者数： 3名</p>	 
<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施術スキルを向上させることで、一般就労への転職する際に必要な施術スキルの保持ができる。</li><li>・外部講師（他治療院施術者）からの指導・意見をもらえる事で、普段の治療院内では得られない施術技術の獲得に繋がる。</li></ul>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>研修実施に向けて、参加者それぞれが事前準備や自主的な練習に取り組む様子が見られ、日頃以上に学習意欲の高まりが感じられた。また、研修後は各事業所において業務への意識向上がみられ、サービス提供面にも一定の好影響があったと考えられる。一方で、視覚障がいのある参加者に対する技術指導については、伝達方法や確認方法に工夫が必要であり、今後はより参加しやすい研修体制の整備が課題である。</p>	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

当日は終始前向きな雰囲気の中で研修が進み、参加者一人ひとりの真剣な姿勢が印象に残った。長時間の研修であったため、後半には疲れが見える場面もあったが、最後まで集中を切らさず取り組まれていた点が素晴らしかった。また、技術力の高い参加者も多く、講師・受け手の立場を問わず、互いに学び合える有意義な時間になった。あわせて、施術技術だけでなく、接遇や利用者との関わり方の大切さについても改めて考えさせられる機会であった。

連携先企業（担当者）

じょうとう鍼灸整骨院（三木、後藤）、てあてる鍼灸整骨院（大野）、  
奈良県立盲学校（煙山）、楽らく治療院（宮内）、Sakura鍼灸整骨院（寺井）

## 利用者からの意見・評価

接遇意識の向上や施術の安定性について一定の評価があり、「利用者の対応が丁寧になっている」「安心して任せられる場面が増えている」といった声が聞かれた。また、定期的な研修を継続している点についても好意的に受け止められている。一方で、個別対応力や状況に応じた柔軟な判断力については、さらに向上が期待されており、より実践的な場面を想定した支援の必要性が示唆されている。